

ありがとう けいぞうくん

黒木 綺嬉

ことしの夏休みは、一生わすれてはいけない夏休みになりました。それは小さな男の子にだいじな命をもらったからです。わたしは、生まれてからすぐにじんぞうが悪いことがわかりました。ママはずっとないていたそうです。1さいくらいから、ふくまくとうせきがはじまりました。小学1ねんせいとき、わたしはくすりのふくさようで、はが黒くなり、みんなから「おばけ」といじめられました。それで、学校にいきたくなくなりました。4ねんせいのとちゅうまでいきませんでした。でも、やっぱり学校にいきたくなりました。それでママが、いろいろしてくれたので、あかえまつばらしえん学校にこれました。

学校にこれるようになって、とてもうれしかったです。学校は、せんせいたちがやさしくて、にんずうがすくなかったのていくことができました。だけど、たべもののせいげんがあったので、給食がたべられなかったです。そして、おなかにチューブがあったのでプールにもはいれませんでした。とてもかなしくてつらかったです。

わたしは、びょうきがなおるには、じんぞういしょくしかないといわれていました。夏休みにふくおかのびょういんに、かぞくやしんせきみんなでいきました。だけど、わたしにいしょくできるじんぞうはありませんでした。がっかりしてかなしかったです。びょういんからかえるとちゅうに、みんなでゆうえんちに行くことにしました。わたしもたのしみにしていました。そのゆうえんちにおかっているとき

に、ふくおかのびょういんから、ママにでんわがかかってきました。「じんぞうが見つかったよ。」というでんわでした。

じんぞういしょくのしゅじゅつがおわったあと、わたしは、ものすごくしあわせなきもちになりました。みんなとおなじようにできるんだとおもいました。ママはずっとびょういんにいてくれました。

わたしは、だれにいのちをもらったのか、びょういんのせんせいにききました。せんせいが「小さな男の子」とおしえてくれました。わたしは、そのいのちに名前をつけました。しゅじゅつをしてくれたせんせいの名前と同じ「けいぞうくん」です。わたしは、けいぞうくんにかんしゃしています。けいぞうくんにもらったいのち。けいぞうくんありがとう。いのちをありがとう。

